

／ 英検2級合格 (CEFR B1) から始めよう! ／



TOEFL iBT[®] Free Practice Test 問題集

憧れの
キャンパスライフを
疑似体験!



ETS公認トレーナーNobu先生のワンポイント和訳解説付き

本冊子ができるまで ～ETS Japanの想い～

TOEFL iBT®テストの学習や指導に関して、中学校、高等学校の英語教員や進路指導担当、留学フェア・説明会の来場学生、保護者様とお話する際「英検2級程度の英語力を身につけた学生がTOEFL iBTを勉強したいと思った時に、何から始めたらよいかわからない」「学習をはじめるキッカケにできるようなミニテストはないか」というご意見・ご要望をいただくことがあります。

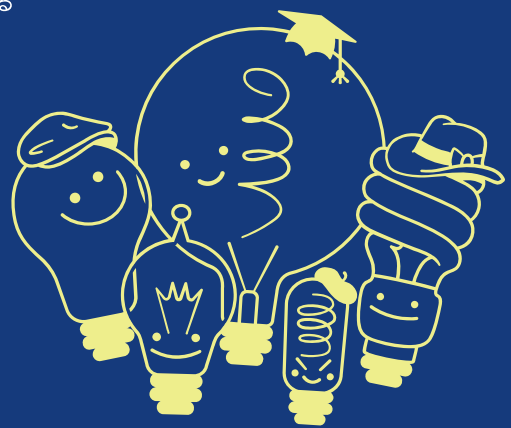
そこでETS Japanでは、はじめてTOEFL iBTテストを学習される方ができるだけ前向きに取り組めるように、難しいとされるアカデミック分野の出題文に和訳と解説を入れ、母国語が日本語の学生にとっても「わかりやすく」「はじめやすい」模擬テスト集となるよう、本冊子を制作いたしました。

本冊子で使われている模擬テストは、ETSアメリカ本社が全世界向けに提供しているTOEFL iBT Free Practice Testのコンテンツをそのまま活用しており、出題傾向やセクション毎の特徴などを1から学ぶことができます。

eBook版では、Listeningの音声データにもアクセスできるようになっています。





「英文の長文読解が苦手」という学生さんや「子供に勧めたいけど、問題内容が難しくて理解できない」とお困りの保護者様は、まずは日本語の補足を読み、内容の理解を深めてみてください。

「もしかしたら、自分にも挑戦できるかもしれない」とそんな気持ちでTOEFLテストの学習に取り組む方が一人でも増えますように、願いをこめて...



ETS Japan TOEFL iBTテスト
担当スタッフ一同

Table of Contents

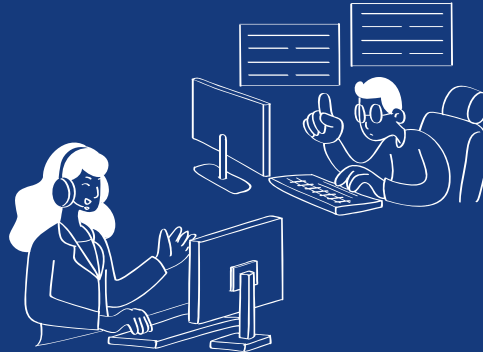
本冊子ができるまで～ETS Japanの想い～	P.2
本冊子の活用方法のご提案	
TOEFL iBTテストの勉強を英検2級合格から始めると良い理由	P.4
TOEFL iBTテストでCEFR B1の人ができること	
TOEFL iBTテストの学習や試験で学べること、テスト構成	P.5
 Reading Practice リーディングのテスト形式に慣れよう!	P.6～9
Agriculture (農業) Iron and the Bantu People	
 Listening Practice リスニングのテスト形式に慣れよう!	P.10～14
Anthropology (人類学) Birth Bark Canoes	
 Speaking Practice スピーキングのテスト形式に慣れよう!	P.15～16
Psychology (心理学) Behavior Modification	
 Writing Practice ライティングのテスト形式に慣れよう!	P.17～19
Humanities (人文学) The Chevalier	

本冊子の活用方法のご提案

1

内容を日本語で理解する

先生、同級生、家族等と
一緒に読んでみよう



2

実際に解いてみる

わからない箇所は辞書を
使って頑張ろう



3

Sample the TOEFL iBT Test 英語版に挑戦してみる

最初からいきなり挑戦するよりも
ハードルが下がっているはず！

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/tips/ibt-beginners/sample_test.html



あなたにも
きっとできる！



Nobu先生

Nobu先生のプロフィール

甲南大学 名誉教授 **津田 信男** 先生 (NOBUO TSUDA)
ETS Authorized Propell® Facilitator ETS公認トレーナー

略歴 | ブリガムヤング大学ハワイ校英語教授法学士号、
ユタ州ブリガムヤング大学大学院英語教授法TESOL Certificate、修士号、
フロリダ州アーゴシー大学大学院教育リーダーシップ博士号を取得。

専門 | 英語教授法、教育学

TOEFL iBTテストの勉強を 英検2級合格から始めると良い理由

欧州共通言語参照枠CEFR (Common European Framework of Reference for Languages)の対照表では、英検2級の合格ライン(英検CSEスコア1980)はCEFR B1の入り口ラインとされています。TOEFL iBTテストの4技能はCEFR B1の範囲から測定可能なことから、英検2級合格層は、TOEFL iBTテストの学習をスタートするのに適していると考えられます。

C2	114~120 (R29, L28, S28, W29以上)			
C1	95~113 (R24, L22, S25, W24以上)	満点 3400		
B2	72~94 (R18, L17, S20, W17以上)	合格 2630	満点 3000	満点 2600
B1	42~71 (R4, L9, S16, W13以上)		合格 2304	
A2				合格 1980
A1				
CEFR	TOEFL iBT	1級	準1級	2級
		英検		

※上記は各テストのスコアがCEFRの各レンジに対してどのように対応しているかを示したテーブルであり、テスト間のスコアの相関を保証するものではありません。

引用元 <https://www.eiken.or.jp/cse/>
<https://www.ets.org/toefl/score-users/ibt/compare-scores.html#accordion-1e9bee5a64-item-26098d20a4>

TOEFL iBTテストで CEFR B1の人ができること

ETSでは、TOEFL iBTテストが測っている「アカデミック英語でできること」を、CEFRのレベルごとにCan-doリストの形で公開しています。こちらを読むと、TOEFL iBTテストにおけるCEFR B1レベルの方はこういったアカデミックな英語力があるのかを確認することができます。

Performance Descriptors CEFR B1 Speaking の内容

Low-Intermediate Score range 13-16CEFR Level B1

WritingセクションのスコアがLow-Intermediateレベルの人は、
一般的または身近なトピックについて英語で簡単な文章を作成することができます。
Low-Intermediateレベルの受験者は、通常、以下のことができます。

- ある問題について、いくつかのアイデアを表現する簡単な文章を作成することができるが、
詳細や説明が不十分または不適切であるため、アイデアの展開が限定的である。
- 複数のソースから関連する情報を要約することができるが、ソースの重要な考え方が省略されていたり、
著しく誤って表現されている。(特に、不慣れな語彙が必要なときや、複雑な情報処理において)
- 文章を書くのが苦手で、言葉の間違いがあり、文章中の考え方の重要な接点で、つながりや意味が不明瞭である。

Performance Descriptors for the TOEFL iBT® Testのフルバージョン(英語版)はこちら
https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/scores.html#pagelink03



TOEFL iBTテストの 学習や試験で学べること

TOEFL iBTテストは、2006年よりアメリカニュージャージー州プリンストンにあるETSがインターネットで英語4技能を測る目的で開発されました。

アメリカの大学に入学すると1～2年生は一般教養を履修するのが必須で、TOEFL iBTテストではこの一般教養科目の内容（歴史、心理学、社会学、人類学、地学、化学、生態学、地質学、天文学、哲学など）が含まれています。

また、TOEFL iBTテストのSpeakingとWritingセクションでは、Integrated Task（統合型問題）を解く能力が求められます。Speakingでは、文章を読み、音声を聞いてから、読んだ文章と聞き取った音声に関して話します。Writingでは、文章を読み、音声を聞いてから、読んだ文章と聞き取った音声に関してエッセイを書きます。

北米の大学に行くと、教科書を読んで講義を聞きながら、質問に答えたり、教科書を読んで授業に参加した後、エッセイや、レポートを書いたりします。つまり、TOEFL iBTテストでは英語学習者が現地の大学の授業についていけるかどうかを評価しているのです。

留学を予定している方にとっては、「留学後の学校生活」において実践的に役立つ能力が磨けますし、留学を予定していない方でも自分が「海外の大学の授業で通用するスキル」を持っているか知ることができます。

テスト構成

2023年7月26日からテスト形式が一部変更となりました。

各セクション 30点満点、合計120点満点です。テストは表の順番で受けます。

本誌でご紹介している問題は●の箇所です。

セクション	問題数	時間	スコア
 Reading	2パッセージ (各 10問) ●	35分 ^{※1}	0-30
 Listening	講義 3題 (各6問) ● 会話 2題 (各5問)	36分 ^{※1}	0-30
 Speaking	Independent Task (1問) Integrated Task (3問) ●	16分 ^{※1}	0-30
 Writing	Academic Discussion Task (1問) Integrated Task (1問) ●	29分 ^{※1}	0-30
Total	—	約2時間	0-120

※1 新形式のテストでは、Reading Listening、Speaking、Writingの各セクションのInstructionとナビゲーションが簡素化されます。

そのため、ETSでは独自の統計データとプロセスデータの分析に基づき、ほとんどの受験者が費やすと予想される試験時間を算出しています。

この時間は各セクション内にあるInstruction等の進め方により多少前後します。

※ 2023年7月26日以降のテスト形式（新たに導入されるAcademic Discussion Task含む）の詳細については専用Webページでご紹介中です。

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/2hours/





Reading Practice

リーディングのテスト形式に慣れよう！

Agriculture 農業

1.

Iron, and the Bantu Peoples

「鉄」と「バントゥー系民族」

There is evidence of agriculture in Africa prior to 3000 B.C. It may have developed independently, but many scholars believe that the spread of agriculture and iron throughout Africa linked it to the major centers of the Near East and Mediterranean world. The drying up of what is now the Sahara desert had pushed many peoples to the south into sub-Saharan Africa. These peoples settled at first in scattered hunting-and-gathering bands, although in some places near lakes and rivers, people who fished, with a more secure food supply, lived in larger population concentrations. Agriculture seems to have reached these people from the Near East, since the first domesticated crops were millets and sorghums whose origins are not African but West Asian. Once the idea of planting diffused, Africans began to develop their own crops, such as certain varieties of rice, and they demonstrated a continued receptiveness to new imports. The proposed areas of the domestication of African crops lie in a band that extends from Ethiopia across southern Sudan to West Africa. Subsequently, other crops, such as bananas, were introduced from Southeast Asia.

パラグラフ1の和訳

紀元前3000年以前にアフリカで農業が行われていた証拠がある。農業は独自に発展した可能性があるが、多くの学者は、農業と鉄がアフリカ全体に広がったことで、近東と地中海の主要拠点とが繋がったと考えている。サハラ砂漠が干上がったことで、多くの民族がサハラ砂漠以南のアフリカの地に押し出された。これらの民族は、最初は散発的な狩猟採集の集団として定住したが、湖や川の近くでは、より安定した食糧供給を受けられる漁労を行う人々が、より多くの人口を成して生活していた。農耕は近東から伝わったとされていて、最初に家畜化された作物はアフリカではなく西アジアに起源を持つ「キビ」や「ソルガム」であった。植物を植えるという考えが広まると、アフリカの人々は米のような独自の作物を開発し始め、新しい輸入品を受け入れる姿勢も持っていました。アフリカの作物が家畜化された地域は、エチオピアからスーダン南部を経て西アフリカに至る帯状の地域と推定される。その後、バナナなどの作物が東南アジアから導入された。

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう！

1. According to paragraph 1, why do researchers doubt that agriculture developed independently in Africa?

- A** African lakes and rivers already provided enough food for people to survive without agriculture.
- B** The earliest examples of cultivated plants discovered in Africa are native to Asia.
- C** Africa's native plants are very difficult to domesticate.
- D** African communities were not large enough to support agriculture.



ETS公認トレーナーNobu先生のワンポイント解説！

正解 **B** The earliest examples of cultivated plants discovered in Africa are native to Asia.

パラグラフの答えとなる部分

“Near East, since the first domesticated crops were millets and sorghums whose origins are not African but West Asian.”
最初に栽培された作物はアフリカではなく西アジアであるとされています。“cultivated”と“domesticated”は同義語です。



Reading Practice

リーディングのテスト形式に慣れよう!

2.

Livestock also came from outside Africa. Cattle were introduced from Asia, as probably were domestic sheep and goats. Horses were apparently introduced by the Hyksos invaders of Egypt (1780–1560 B.C.) and then spread across the Sudan to West Africa. Rock paintings in the Sahara indicate that horses and chariots were used to traverse the desert and that by 300–200 B.C., there were trade routes across the Sahara. Horses were adopted by peoples of the West African savannah, and later their powerful cavalry forces allowed them to carve out large empires. Finally, the camel was introduced around the first century A.D. This was an important innovation, because the camel's ability to thrive in harsh desert conditions and to carry large loads cheaply made it an effective and efficient means of transportation. The camel transformed the desert from a barrier into a still difficult, but more accessible, route of trade and communication.

パラグラフ2の和訳

家畜もアフリカ以外のところから入ってきた。牛はアジアから持ち込まれ、家畜の羊やヤギもおそらく同じであろう。馬はエジプトを侵略したヒクソス人（紀元前1780～1560年）が持ち込んだようで、その後スーダンを越えて西アフリカに広がっていった。

サハラ砂漠の岩絵からわかるのは、馬と戦車が砂漠を横断するのに使われたこと、そして紀元前300年から200年頃にはサハラ砂漠を横断する交易路が存在したことだ。

馬たちは西アフリカのサバンナの人々の間で使われ、やがて強力な騎兵隊は大帝國を築くことができた。また、西暦1世紀頃にラクダが持ち込まれたことは、重要で革新的であった。なぜならラクダは砂漠の過酷な環境下でも生き延び、大きな荷物を安く運べるため、有効かつ効率的な輸送手段となったからだ。ラクダは砂漠を「障壁ではあるが、よりアクセスしやすい」交易・通信のルートに変えたのである。

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう!

2. According to paragraph 2, camels were important because they

- A** were the first domesticated animal to be introduced to Africa
- B** allowed the people of the West African savannahs to carve out large empires
- C** helped African peoples defend themselves against Egyptian invaders
- D** made it cheaper and easier to cross the Sahara



正解 **D** made it cheaper and easier to cross Sahara

パラグラフの答えとなる部分

“Finally, the camel was introduced around the first century A.D. This was an important innovation, because the camel's ability in harsh desert conditions and to carry large loads cheaply made it an effective and efficient means of transportation.”
2つ目の文にあるようにラクダは砂漠や荷物を運ぶのに安価で効率が良い動物であると記載されています。



Reading Practice

リーディングのテスト形式に慣れよう!

3.

This technological shift caused profound changes in the complexity of African societies. Iron represented power. In West Africa the blacksmith who made tools and weapons had an important place in society, often with special religious powers and functions. Iron hoes, which made the land more productive, and iron weapons, which made the warrior more powerful, had symbolic meaning in a number of West African societies. Those who knew the secrets of making iron gained ritual and sometimes political power.

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう!

3. The word “ritual” in the passage is closest in meaning to

- A** military **B** physical **C** ceremonial **D** permanente



正解 C ceremonial

パラグラフを読むと“Iron represented power” “...often with special religious powers and functions.” “...had symbolic meaning in a number of West African societies”そして最後の文は“Those who knew the secrets of making iron ritual and sometimes political power.”となっています。そこで“ritual”は宗教的な言葉と推測できますので、(A) military (B) physical (D) permanentはどれも当てはまりません。“ritual”は宗教的な儀式なので、“ceremonial”が一番近い言葉になります。



Reading ではここに気をつけよう! Skimmingとscanning

1パッセージを18分で解答するには、パッセージを読んでから問題をやっていくと時間が足りません。そのためには、skimmingとscanningのスキルが必要です。skimmingの目的はパッセージの概要を理解することです。実際には、700語のパッセージのタイトルを読んでから、各パラグラフの最初の文のみを読みます。この方法でやってみると、1分半程度でskimmingを終えることができますので、時間をはかりながら練習してみましょう。

各パラグラフの最初の文はパラグラフのmain ideaが書いてあることが多いので、skimmingのみでパッセージの大意を掴むことができます。それが終われば、問題に入り、scanningを行います。scanningの目的は必要な情報を読み取ることです。

例えば、単語の問題はマーカーが入っていますので、パラグラフ全部を読む必要がなく、単語のある文やその前後の文を読んで推測します。また、質問にはkey word/key phraseがあるので、それを探すことによってパラグラフの必要な情報部分を読んで答えを導き出すことができます。

その他、Readingの具体的な対策方法



A B アカデミック
C 単語力の強化



S+V 熟語・文法等の
おさらい



1日30分程度の多読



正解、不正解の理由を分析



Reading Practice

リーディングのテスト形式に慣れよう!

4.

The diffusion of agriculture and later of iron was accompanied by a great movement of people who may have carried these innovations. These people probably originated in eastern Nigeria. (A) Their migration may have been set in motion by an increase in population caused by a movement of peoples fleeing the desiccation, or drying up, of the Sahara. (B) They spoke a language, proto-Bantu (“bantu” means “the people”), which is the parent tongue of a large number of Bantu languages still spoken throughout sub-Saharan Africa. Why and how these people spread out into central and southern Africa remains a mystery, but archaeologists believe that their iron weapons allowed them to conquer their hunting-gathering opponents, who still used stone implements. (C) Still, the process is uncertain, and peaceful migration—or simply rapid demographic growth—may have also caused the Bantu explosion. (D)

パラグラフ4の和訳

農耕、そして鉄の普及は、これらの技術革新を担ったであろう人々の大移動を伴っていた。これらの人々の起源はおそらくナイジェリア東部であろう。彼らの移動は、サハラ砂漠の乾燥化から逃れた人々の移動による人口増加で始まったと思われる。彼らはプロト・バンチュ（「バンチュ」は「人々」の意）という言語を話し、それが現在サハラ以南のアフリカで話されている多くのバンチュ言語の母体となっている。しかし、考古学者たちは、彼らが鉄の武器によって、まだ石器を使用していた狩猟採集の相手を征服することができたと信じている。しかし、その過程は不明であり、平和的な移動、あるいは単に急激な人口増加もバンツー族の爆発的な増加を引き起こした可能性がある。

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう!

4. In the paragraph below, there is a missing sentence. Look at the paragraph and indicate (A, B, C and D) where the following sentence could be added to the passage.

**These people had a significant linguistic impact on the continent as well.
Where would the sentence best fit?**

- A** Option A **B** Option B **C** Option C **D** Option D



正解 B These people had a significant linguistic impact on the continent as well.

「これらの人々は重要で言語的な影響を大陸にも与えた」とあります。具体的な例は(B)の後の文にあるように“*They spoke a language, proto-Bantu (“bantu” means “the people”), which is the parent tongue of a large number of Bantu languages still spoken throughout sub-Saharan Africa.*” Bantuという言語がサハラ以南のアフリカで現在も使われていると書かれているので、上記の文を (B)に挿入すると (B)の後の文と意味がうまく繋がります。



Listening Practice

リスニングのテスト形式に慣れよう!

Anthropology 人類学

Birch Bark Canoes

アメリカ白樺の樹皮で作ったカヌー



Download Audio
音声ダウンロード
はこちら



Narrator

Listen to part of a lecture in an anthropology class.

Female Professor

So we've been discussing sixteenth century Native American life, and today we're going to focus on Iroquois and Huron peoples, um they lived in the northeastern Great Lakes region of North America. Now, uh back then, eh their lives depended on the natural resources of the forest, especially the birch tree. The birch tree can grow in many different types of soils and is prevalent in that area. Now, um eh can anyone here describe a birch tree?

レクチャーの長い部分を和訳!こんなことを話しています

これまで16世紀のネイティブ・アメリカンの生活について話し合ってきましたが、今日はイロコイ族とヒューロン族に焦点を当てます。彼らは北アメリカの五大湖の北東部に住んでいました。彼らの生活は森の天然資源、特に樺の木に依存していました。白樺の木はさまざまな種類の土壌で育つことができるので、その地域に広く分布しています。白樺の木について説明できる人はいますか？

Male Student

Umm, they're tall? And... white? The bark, I mean.

Female Professor

Yes, the birch tree has white bark. And this tough protective outer layer of the tree, this, this white bark, is waterproof, and this waterproof quality of the bark oh it made it useful for making things like cooking containers, um ...a variety of utensils.

And if you peel birch bark in the winter—eh we call it the “winter bark”—um, another layer, a tougher inner layer of the tree adheres to the bark, producing a stronger material...so the “winter bark” was used for larger utensils and containers.

そうですね。樺の木には白い樹皮があって、防水性があります。この防水性のおかげで調理容器など、様々な道具を作るのに役立ちました。冬に白樺の皮をむくことを“ウィンターバーク”と呼びます。木の内側のもっと丈夫な層が皮に付着して、より強い素材になるんです。だから“ウィンターバーク”は大きな道具や容器に使われたという訳ですね。

Male Student

Umm, I know people make utensils out of wood, but utensils out of tree bark?

Female Professor

Well, birch bark is pliable and very easy to bend.

The Native Americans would cut the bark and fold it into any shape they needed, then secure it with cords until it dried. They could fold the bark into many shapes.





Listening Practice

リスニングのテスト形式に慣れよう!

Male Student

So, if they cooked in bowls made of birch bark, wouldn't that make the food taste funny?

Female Professor

Oh, that's one of the great things about birch bark. The taste of the birch tree doesn't get transferred to the food—so it was perfect for cooking containers. Eh but the most important use of the bark by far was the canoe. Since the northeast region of North America is uh it's interconnected by many streams and waterways, water transportation by vessels like a canoe was most essential. The paths through the woods were often overgrown, so, so water travel was much faster. And here's what the Native Americans did... they would peel large sheets of bark from the tree to form lightweight yet sturdy canoes. The bark was stretched over frames made from tree branches, uh stitched together and sealed with resin—y-you know that, that sticky liquid that comes out of the tree—and when it dries, it's watertight. One great thing about these birch bark canoes was, uh they could carry a large amount of cargo. F-For example, a canoe weighing about 50 pounds could carry up to 9 people and 250 pounds of cargo.

それも白樺の樹皮の良いところですね。樺の木の味が食事に移らないから調理容器に最適だったんです。一方、樹皮の最も重要な使用用途はカヌーでした。北米の北東部は多くの小川や水路が流れているので、カヌーのような船による水上輸送が生活に欠かせませんでした。森の中の道は緑が生い茂っていたので、水上の方がはるかに早く移動できたのです。

ネイティブ・アメリカンは木の皮を大きく剥いて、軽くて丈夫なカヌーを作りました。木の枝で作った枠に樹皮をはり、縫い合わせ、樹脂で封をしました。この白樺の樹皮でできたカヌーのすごいところは、大量の荷物を運べることです。例えば、重量50ポンドのカヌーには、9人の人間と250ポンドの荷物を載せることができました。

Female Student

Wow! But... how far could they travel that way?

Female Professor

Well, like I said, the northeastern region is uh interconnected by rivers and streams, and uh the ocean at the coast. The canoes allowed them to travel over a vast area that—that today would take a few hours to fly over. You see, the Native Americans made canoes of all types, for travel on small streams or on large open ocean waters. For small streams they made narrow, maneuverable boats, while, while larger canoes were needed for the ocean. They could travel throughout the area, only occasionally having to portage, um to, to, carry the canoe over land a short distance eh to another nearby stream. And since the canoes were so light... this wasn't a difficult task. Now, how do you think this affected their lives?



繰り返しになりますが、東北地方は川や小川で繋がっていて、沿岸には海があります。カヌーによって、飛行機で数時間かかるような広大な範囲を移動することができました。

ネイティブ・アメリカンは小川や大海原を移動するために、あらゆる型のカヌーを作りました。小川では、幅が狭く操縦しやすいボートを作りました。一方海では、それよりも大きなカヌーが必要でした。時折カヌーを陸地に運び、近くの小川まで移動させました。さらにカヌーはとても軽いため、難しいタスクではなかったのです。

さて、このことが彼らの生活にどのような影響を与えたと思いますか？



Listening Practice

リスニングのテスト形式に慣れよう!

Female Student

Well, if they could travel so easily over such a large area, they could trade with people from other areas...which I guess, would...lead them to form alliances?

Female Professor

Exactly. Having an efficient means of transportation, well that helped the Iroquois to form a federation, linked by natural waterways, and this federation expanded from uh what is now southern Canada all the way south to the Delaware River. And eh this efficiency of the birch bark canoes also made an impression on newcomers to the area. French traders in the seventeenth century modeled their... eh well they adopted the design of the Iroquois birch bark canoes and they found that they could travel great distances—more than 1500 kilometers a month.

Now, besides the bark, Native Americans also used the wood of the birch tree. Eh, the young trees were used as supports for lodgings, with the waterproof bark used as roofing. Um, branches were folded into snowshoes, and the Native American people were all adept at running, running very fast over the snow in these uh these birch-branch snowshoes, which, if you've ever tried walking in snowshoes, you know isn't easy.

まさにそうですね。効率的な輸送手段を手に入れたことで、イロコイ族が水路で結ばれた群れを形成し、この群れは、現在のカナダ南部からデラウェア川まで拡大しました。この白樺の皮で作られたカヌーの効率性は、この地に新たにやってきた人たちの目にも留まりました。17世紀のフランスの商人たちは、イロコイ族のカヌーを型取り...型取りというかデザインを取り入れたのです。また、彼らはこのカヌーで(1ヶ月に1500キロ以上の長距離を移動できることを発見したのです。アメリカ先住民は、樹皮の他に樺の木も使っていました。若い木は小屋の支柱として使われ、防水性の高い樹皮は屋根材として使われました。また小枝を折って雪靴を作りました。ネイティブ・アメリカンの人々は皆、この白樺の枝でできた雪靴で雪の上をとても速く走ることが得意でした。雪靴を履いて歩いたことがある人なら、これが簡単でないことがわかりますよね。

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう!

1. What is the lecture mainly about?

- A** Different kinds of trees used for building canoes
- B** Various methods of Native American transportation
- C** The value of birch trees to some Native American groups
- D** The trading of birch wood products by Europeans in North America



ワンポイント解説

正解 C The value of birch trees to some Native American groups

スクリプトを見ると最初のところで"••today we're going to focus on Iroquois and Huron peoples...back then their lives depended on the natural resources the birch tree"とあります。Iroquois, Huronはアメリカインディアンの種族で、白樺に依存した生活をしていたと書かれています。白樺はどのように貴重な資源だったのかというのがこの講義の中心となります。



Listening Practice

リスニングのテスト形式に慣れよう!

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう!

2. According to the professor, what characteristics of birch bark made it useful to Native Americans?

Chose 2 answers.

- A** It repels water. **B** It can be eaten. **C** It is easy to fold. **D** It has a rough texture.



正解 **A** It repels water. **C** It is easy to fold.

スクリプトには "...this white bark, is waterproof," 防水とありますので、(A) It repels water. 水を弾くことと同じです。
また、スクリプトには "...birch bark is pliable and very easy to bend." (白樺の樹皮は曲げやすく、簡単に曲げることができる)とあるので、
(C) It is easy to fold. (簡単に折り曲げる)と同じ意味になります。ここでは、"bend"と"fold"は同義語です。

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう!

3. Why does the professor mention French traders who arrived in the Iroquois region?

- A** To illustrate how far news of the Iroquois canoe design had traveled
B To explain the kinds of objects the Iroquois received in exchange for their canoes
C To support her point about how efficient the Iroquois canoe design was
D To emphasize that the Iroquois were the first settlers in that region



正解 **C** To support her point about how efficient the Iroquois canoe design was

スクリプトには "French traders in the seventeenth century modeled their...eh, well they adopted the design of the Iroquois birch bark canoes and they found that they could travel great distances—more than 1500 kilometers a month." とあります。
つまりフランスの商人たちは Iroquois 製のカヌーを取り入れたところ非常に長旅ができるということが分かったので、Iroquois のカヌーがいかに効率の良いものかということになります。



Listening Practice

リスニングのテスト形式に慣れよう!

Directions: Now answer the questions. 問題に答えてみよう!

4. Why does the professor say this:

Female Professor The canoes allowed them to travel over a vast area that-that today would take a few hours to fly over.

- A** To show how slow canoe travel was
- B** To illustrate the size of a geographic area
- C** To compare different means of travel
- D** To describe how waterways change over time



正解 B To illustrate the size of a geographic area

Professorは“The canoes allowed them to travel over a vast area that-that today would take a few hours to fly over.”と言っているようにカヌーで広大な地域を行き来していました。今では飛行機でも数時間かかるので、地理的な大きさについて述べています。



Listening ではここに気をつけよう!

- Listening 問題は、実際の留学生活で体験するような大学の講義、キャンパス内での会話で構成されています。
- Listeningの音声流れるのは1度のみです。Readingセクションのように前の問題に戻ることはできません。
- Listeningでは解き直しはできませんが、メモを取ることができます。メモ取りの練習を積みましょう。時間を節約するためにabbreviations(省略化したもの)を使うのもおすすめです。
例: # = number, ex = for example, first, second, third = 1, 2, 3
- 質問は会話・講義が終わった後1問ずつ出題されます。最初の質問は、professor's officeの場面であれば、“Why does the student go to see the professor?” 講義の場面であれば、“What is the lecture mainly about?”など全般的な内容の質問が多いです。
- 出題形式は「選択問題(4択から1つ選択、複数の選択肢から2つ以上選択など)」「イベント・工程・手順を正しい順番に並べる問題」「情報をまとめて表を完成させる問題」などがあります。
- Replay Questionsという会話や講義の一部がもう1回再生される設問(発言の意図・意味を問う問題で1つの講義・会話につき1~2問)
- 各質問の解答時間は30秒以内です。時間切れにならないように注意しましょう。

その他、Readingの具体的な対策方法



音声は声に出して
英語音を体得



講義問題に出てくる
文章を一文ずつ聞いて
ディクテーション



ノートに頼らず記憶に
留める練習を。
Shadowingの練習以上に、
Reproductionを!

Shadowing



再生中
→聞こえた音を復唱

Reproduction



一時停止
→記憶を辿って暗唱



Speaking Practice

スピーキングのテスト形式に慣れよう!

Psychology

Behavior Modification

Narrator Now read the passage from a psychology textbook. You have 45 seconds to read the passage. Begin reading now.



Reading

Individuals often modify their behavior based on what they have learned about the possible consequences of their actions. When an individual learns through experience that a certain behavior results in pleasant consequences, that behavior is likely to be repeated. An unpleasant consequence, on the other hand, discourages further repetition of the behavior. While behavior modification can be observed in experiments, it also occurs frequently in everyday settings, when individuals change their behavior based on what they have learned about the consequences of that behavior.



Listening

Narrator

Now listen to part of a lecture on the topic in a psychology class.

Male Student

Male Student This happens all the time with kids, in schools. Say there's a little boy or girl who's just starting school. Well, they're not really used to the rules about proper behavior for a classroom, so at the beginning, they might, I don't know, interrupt the teacher, walk around the classroom when they're supposed to be sitting down. You know, just misbehaving in general. OK, but what happens? Well, the teacher gets angry with them when they act this way. They might get punished--they have to sit at their desks when everyone else is allowed to go outside and play. And they certainly don't like that. Soon they'll learn that this kind of behavior gets them in trouble. They'll also learn that when they raise their hand to talk to the teacher and sit quietly and pay attention during class... they're rewarded. The teacher tells them she's proud of them, and maybe puts little happy-face stickers on their homework. Now that their behavior gets a good reaction from the teacher, the kids learn to always act this way in class... and not behave the way they used to.



Speaking

Using the example from the lecture, explain what behavior modification is and how it works.

If this were an actual test question, you would have 30 seconds to prepare your response and 60 seconds to record your response.

Speaking Practice スピーキング和訳解説



ETS公認トレーナー Nobu先生のワンポイント解説!

Psychology (心理学)

Using the example from the lecture, explain what behavior modification is and how it works.

まず最初に“behavior modification”とは何かという質問に簡単に答える必要があります。そこでこのリーディングの部分で記載されていることをまとめると“Behavior modification occurs when individuals change their behavior because of consequences”となります。

次に講義では、具体的に子供が教室での授業態度が悪い(先生の邪魔をするなど)と(表で遊ぶかことができないというような)罰が与えられるということを学び、ルールに従って授業を聞いていると先生から褒められ、その結果、子供たちは自分で行動を修正し、続けて態度を良くしようするようになると述べています。

英語で説明すると次の通りです。

You should talk about how children learn in school that misbehaving (such as interrupting the teacher) brings punishment (such as not being allowed to play outside). On the other hand, following the rules (such as paying attention in class) brings rewards (such as praise from the teacher). You should add that as a result, children modify their behavior and begin to consistently behave well. This illustrates the concept of behavior modification.

スピーキング高得点の模範解答



Download Audio
音声ダウンロード
はこちら



Behavior modification is defined as uh people's, uh children's changing their behavior based on their experiences about the consequences of the behaviors. And according to reading too, the pattern, behavior modification can be observed both in experiments and in real life. The professor gives an example of observation of the modification in real life about kids. First when kids first moved in school, they do not know the rules, so they do things like, uh, walking around when they're not supposed to or talking, uh, when teacher's speaking. These behaviors will result in punishments like um, the teacher's, uh, reproaching them about how inappropriate that is. And soon--soon they learn to behave better, um, because uh if they learn to raise hands, um, and or keeps out in the class is more pleasant, teachers praise them, through this they learned, um, this behavior is better for them.

高得点の理由解説!

全体的にクリアで聞き取りやすい話し方です。発音も概ね良好で、イントネーションを効果的に使って意味を表現できています。単純なものから複雑なものまで、さまざまな文法構造と語彙を駆使して自分の考えを表現することができています。

ただし、同意の誤り(「this behaviors」)や代名詞や冠詞を落とす(「learn to raise [their] hands」)などの細かい誤りがいくつかありました。これらの誤りは、聞き手にとって意味を不明瞭にするほどのものではありません。

また、語彙の使い方は、非常に正確で効果的なものが多いです(「...reproaching them about how inappropriate that is...」のところなど)。行動修正についての定義がわかりやすく、正確です。講義の要点をまとめ、定義の裏付けができています。リーディングとリスニングの内容はほぼ首尾一貫しており、正確に全体をまとめられています。



Writing Practice

ライティングのテスト形式に慣れよう!

Humanities(人文学)

The Chevalier



Reading

Toward the end of his life, the Chevalier de Seingalt (1725–1798) wrote a long memoir recounting his life and adventures. The Chevalier was a somewhat controversial figure, but since he met many famous people, including kings and writers, his memoir has become a valuable historical source about European society in the eighteenth century. However, some critics have raised doubts about the accuracy of the memoir. They claim that the Chevalier distorted or invented many events in the memoir to make his life seem more exciting and glamorous than it really was.

For example, in his memoir the Chevalier claims that while living in Switzerland, he was very wealthy, and it is known that he spent a great deal of money there on parties and gambling. However, evidence has recently surfaced that the Chevalier borrowed considerable sums of money from a Swiss merchant. Critics thus argue that if the Chevalier had really been very rich, he would not have needed to borrow money.

Critics are also skeptical about the accuracy of the conversations that the Chevalier records in the memoir between himself and the famous writer Voltaire. No one doubts that the Chevalier and Voltaire met and conversed. However, critics complain that the memoir cannot possibly capture these conversations accurately, because it was written many years after the conversations occurred. Critics point out that it is impossible to remember exact phrases from extended conversations held many years earlier.

Critics have also questioned the memoir's account of the Chevalier's escape from a notorious prison in Venice, Italy. He claims to have escaped the Venetian prison by using a piece of metal to make a hole in the ceiling and climbing through the roof. Critics claim that while such a daring escape makes for enjoyable reading, it is more likely that the Chevalier's jailers were bribed to free him. They point out that the Chevalier had a number of politically well-connected friends in Venice who could have offered a bribe.



Listening

Narrator

Now listen to part of a lecture on the topic you just read about.

Female Professor

No memoir can possibly be correct in every detail, but still, the Chevalier's memoir is pretty accurate overall and is, by and large, a reliable historical source. Let's look at the accuracy of the three episodes mentioned in the reading.

First, the loan from the merchant: Well, that doesn't mean that the Chevalier was poor. Let me explain. We know that in Switzerland, the Chevalier spent huge amounts of money on parties and on gambling. And he had wealth, but it was the kind of property you have to sell first to get money. So, it usually took a few days to convert his assets into actual money. So, when he ran out of cash, he had to borrow some while he was waiting for his money to arrive—but that's not being poor!



Writing Practice

ライティングのテスト形式に慣れよう!



Listening

Female Professor

Second, the conversations with Voltaire: The Chevalier states in his memoir that each night, immediately after conversing with Voltaire, he wrote down everything he could remember about that particular night's conversation. Evidently, the Chevalier kept his notes of these conversations for many years and referred to them when writing the memoir. Witnesses who lived with the Chevalier in his later life confirm that he regularly consulted notes and journals when composing the memoir.

Third, the Chevalier's escape from the prison in Venice: Other prisoners in that prison had even more powerful friends than he did, and none of them were ever able to bribe their way to freedom, so bribery hardly seems likely in his case. The best evidence, though, comes from some old Venetian government documents. They indicate that soon after the Chevalier escaped from the prison, the ceiling of his old prison room had to be repaired. Why would they need to repair a ceiling unless he had escaped exactly as he said he did?

Toward the end of his life, the Chevalier de Seingalt (1725–1798) wrote a long memoir recounting his life and adventures. The Chevalier was a somewhat controversial figure, but since he met many famous people, including kings and writers, his memoir has become a valuable historical source about European society in the eighteenth century. However, some critics have raised doubts about the accuracy of the memoir. They claim that the Chevalier distorted or invented many events in the memoir to make his life seem more exciting and glamorous than it really was. For example, in his memoir the Chevalier claims that while living in Switzerland, he was very wealthy, and it is known that he spent a great deal of money there on parties and gambling. However, evidence has recently surfaced that the Chevalier borrowed considerable sums of money from a Swiss merchant. Critics thus argue that if the Chevalier had really been very rich, he would not have needed to borrow money.

Critics are also skeptical about the accuracy of the conversations that the Chevalier records in the memoir between himself and the famous writer Voltaire. No one doubts that the Chevalier and Voltaire met and conversed. However, critics complain that the memoir cannot possibly capture these conversations accurately, because it was written many years after the conversations occurred. Critics point out that it is impossible to remember exact phrases from extended conversations held many years earlier.

Critics have also questioned the memoir's account of the Chevalier's escape from a notorious prison in Venice, Italy. He claims to have escaped the Venetian prison by using a piece of metal to make a hole in the ceiling and climbing through the roof. Critics claim that while such a daring escape makes for enjoyable reading, it is more likely that the Chevalier's jailers were bribed to free him. They point out that the Chevalier had a number of politically well-connected friends in Venice who could have offered a bribe.



Writing

Directions: Read the question below. You have 20 minutes to plan, write and revise your essay. Typically, an effective response will contain a minimum of 150–225 words.

Summarize the points made in the lecture, being sure to explain how they respond to the specific points made in the reading passage.

Writing Practice ライティング和訳解説



ETS公認トレーナー Nobu先生のワンポイント解説！

Chevalier's Memoir (Chevalierの回顧録)

このエッセイではリーディングの3つのkey points とそれに対する講義の3つの反論を書く必要があります。

Point 1	<p>Reading the loan the Chevalier took from the Swiss merchant shows that the Chevalier wasn't rich. Chevalierはスイスの商人からお金を借りていたので金持ちではなかった。</p> <p>Lecture the Chevalier had wealth, but it was in the form of property; he borrowed only because it took a bit of time to convert his property to cash Chevalierは物件を持っていたので裕福であったが、物件を売って現金を得るには時間がかかる。そのためにお金を借りた。</p>
Point 2	<p>Reading because the Chevalier's memoir was written such a long time after the conversations with Voltaire took place, it can't possibly have captured the conversations accurately. Chevalierの回顧録はVoltaireとの会話後、長い時間が経っていたので、会話の内容などを正確に覚えているはずがない。</p> <p>Lecture the accuracy of the conversations should be believed because the Chevalier wrote down as much as he could remember each night directly after the conversations, and he used notes to write down his memoir Chevalierは毎晩会話の後に会話の内容をノートに書き残して、それを回顧録に使ったので記録は正確であった。</p>
Point 3	<p>Reading it's likely the Chevalier's friends bribed jailers to release him and that the story of about his escape from a Venetian prison through the ceiling is fiction Chevalierの友人は刑務所の看守に賄賂を渡したので、彼は牢屋から出ることができた。彼が刑務所の天井から逃げたのは作り話である。</p> <p>Lecture there were others who had friends more powerful than the Chevalier's friends and no bribe led to their freedom, so the Chevalier's exit was not due to a bribe and shortly after the Chevalier left the prison, the ceiling had to be repaired, so this is good evidence that the story is a true one 刑務所にいた他の人々はChevalierの友人よりもっと影響力のあった人に賄賂を渡したが、刑務所から出ることはできなかった。Chevalierが刑務所から出た後、天井は修理された。これは彼が天井から脱出した証拠である。</p>

これから学習をはじめる方に！おすすめ公式教材



TOEFL iBT、TOEFL ITPどちらにも対応！
公式から初の公式英単語集

『公式 TOEFL® 英単語』

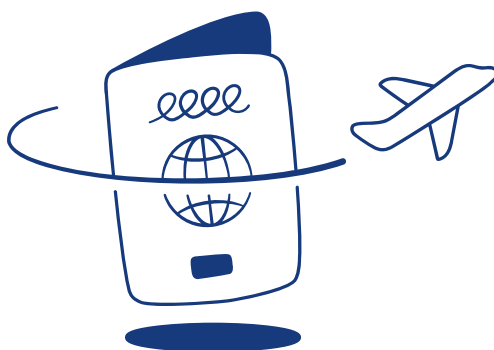
定価：3,300円（税込）

<https://www.officialtestprep.jp/f/otvg>



ETSが持つTOEFL語彙コーパス（これまでにTOEFL iBTおよび関連教材に登場した英単語のリスト）を分析し、出題頻度と重要度が特に高い英単語約2,000語とその派生語約1,800語を厳選収録しました。

アメリカなど海外の大学留学を目指している方はもとより、世界中で通用するアカデミックな本物の英語力を身につけたいと考えているすべての方にとって待望の一冊です。



Copyright© Nobuo Tsuda (Nobu先生)

Copyright© 2024 by ETS Japan G.K. All rights reserved. ETS, TOEFL and TOEFL iBT are registered trademarks of ETS, used in Japan under license.

The Eight-Point logo, TOEFL TESTREADY are trademarks of ETS. All other trademarks are the property of their respective owners.

ETS Japan TOEFL iBT担当 | koho@etsjapan.jp | 2024.09